

東北食農連携ネット

“FACNeT”

東北ハイテク研究会



No.1 (2017.5)

東北地域農林水産・食品ハイテク研究会の事務局体制の変更に伴い事務局が移転しましたので、お知らせします。皆様が気軽に訪問できる場にしたいと考えていますのでよろしくお願いいたします。また、東北ハイテク研究会の活動を的確に表すようなキャッチコピーとして「東北食農連携ネット (Food and Agriculture Collaboration Net in Tohoku FACNeT)」とシンボルマークをPRすることとしました。

事務局体制と事務局の移転

2017年4月1日付けで東北地域農林水産・食品ハイテク研究会の事務局の体制と事務所の場所を次のように変更いたしました。松井前事務局長同様、よろしくお願いいたします。

<事務局体制>

事務局長・農林水産省産学連携支援コーディネータ：
門間敏幸

農林水産省産学連携支援コーディネータ：
星野次汪

事務局次長・農林水産省産学連携支援コーディネータ：
藤井孝咲

<事務局所在地及び連絡先>

〒020-0198 岩手県盛岡市下厨川字赤平4

農研機構 東北農業研究センター内

TEL：080-2806-9926 FAX：019-643-3460

E-mail：tohoku-hightech@kej.biglobe.ne.jp

URL：<http://tohoku-hightech.jp/>



事務局メンバーの活動紹介

事務局長・コーディネータ：門間 敏幸

農業経営診断分析，地域づくり計画の策定支援，震災復興支援等の活動をこれまで実施してきました。技術普及・実用化のコーディネータで皆様の活動を支援したいと考えています。また，外部資金に関わる事業，文科省の科研費などの審査員・評価委員を歴任していますので会員各位の研究費・事業費の獲得支援のためのアドバイスもできますので，気軽に相談してください。東北農業研究センターの前身である東北農業試験場に通算 20 年勤務していました。前職は東京農業大学教授（現名誉教授）です。



コーディネータ：星野 次汪

専門は，作物育種です。ムギ，ヒエ，ダイズなどの品種育成を行い，これらの作物・品種を活用した製品化に地域の食品企業と連携して取り組み地域の活性化に貢献してきました。また，岩手大学では農業者教育にも参画し，地域農業の実態を熟知するとともに，地域の農業者とのネットワークを構築してきました。前職は，岩手大学教授（農学部寒冷フィールドサイエンスセンター），現名誉教授です。



事務局次長・コーディネータ：藤井孝咲

東北ハイテック研究会の運営管理全般，セミナー・シンポジウム・相談会の開催に関わる業務全般を担当します。しばらくは，松井前事務局長の応援を得て活動が滞らないようにしますので，よろしくお願いいたします。



こんな品種です

- ◆イチゴの流通量が減少する晩春から初夏にかけて収穫できるイチゴです。
- ◆大株で収量が多く，奇形果が少なく果実の揃いが良いため業務用・生食用にも適します。
- ◆感寒地・寒冷地の露地栽培や半促成栽培等，大きな投資を行わなくても生産出来ます。

http://www.naro.affrc.go.jp/publicity_report/publication/pamphlet/kind-pamph/059